

2025年12月

個人投資家様向け 会社説明会

東証スタンダード:9059

 **カンダホールディングス株式会社**





- 一、私達は、お客様に満足されるサービスを提供し、
お客様と共に繁栄します。
- 一、私達は、和の精神を大切にし、社員の生活向上を目指します。
- 一、私達は、研究と創造に努め、自己改革に挑戦します。
- 一、私達は、物流を通じて社会の発展に貢献します。

01. カンダグループの概要	
会社概要	5
会社沿革	6
グループ構成	7
拠点ネットワーク	8
02. 事業の概要	
事業内容	10
事業内容(国内物流)	11
事業内容(国際物流)	12
事業内容(不動産・その他)	13
取扱品目別 営業収益構成比率	14
事業の強み	15
03. 2026年3月期第2四半期 連結決算概要	
グループ連結決算推移 (営業収益・営業利益・経常利益・当期純利益)	17
2026年3月期 第2四半期連結累計 決算概要	18
04. 株価と配当推移	
株価・配当推移	20
第2四半期連結累計 株価指標推移	21
優待制度と配当利回り	22
株主数と株主総利回り	23
認知度向上に向けた取組み	24
05. 中期経営計画 2025年4月～2028年3月	
10年後のビジョン	26
中期経営計画 グループ経営方針	27
中期経営計画 連結計数計画	29

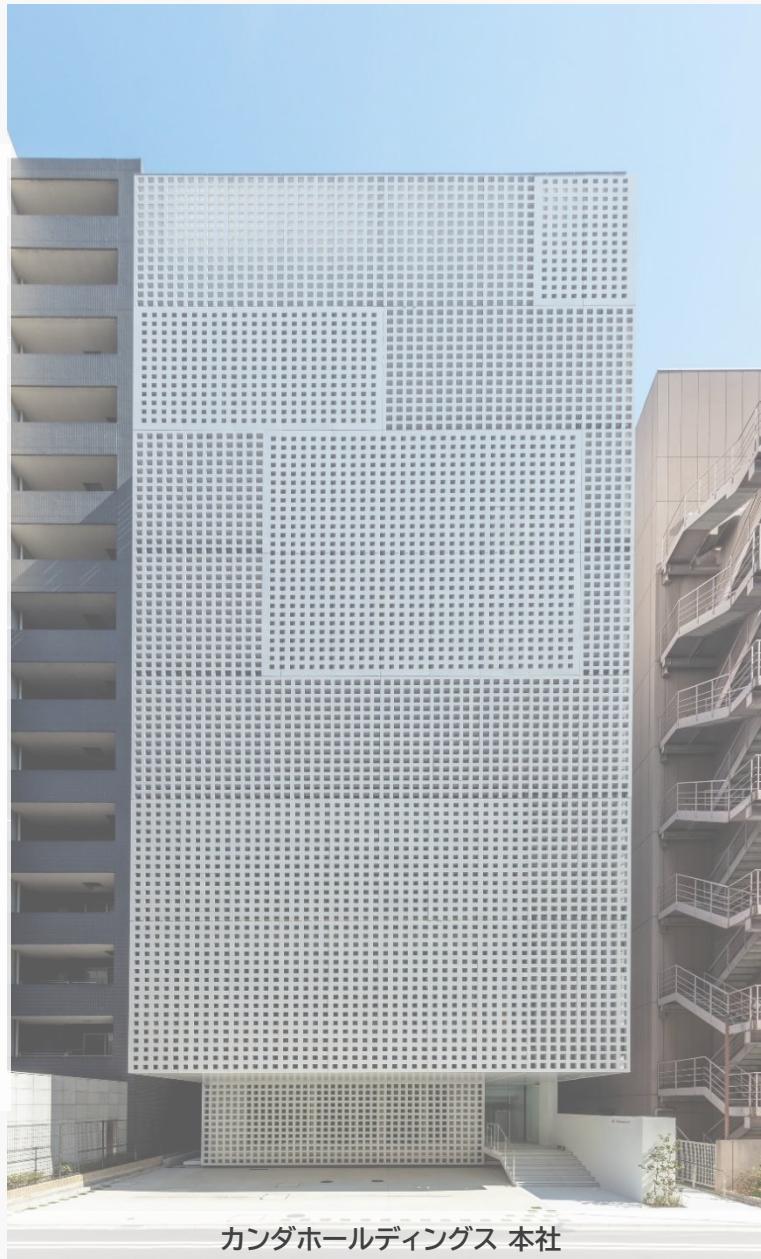
06. 本期の経営方針と今後の取組み	
2026年3月期 経営方針	34
組織再編の推進①②	35
新規事業提案制度の開始	37
DX化「自動点呼システム」の導入	38
DX化「車両衝突防止補助システム」の導入	39
自社施設の建設・取得検討	40
M&Aの推進	41
07. ESG・SDGs	
ESG・SDGs	43
主なCSR活動	44
サステナビリティ推進委員会の設置	45
「うんこドリル くらしと物流」の無償配布	46
働きやすい職場認証制度	47
BCP	48
安全対策	49
Q&A	
質問 1 株式の流動性と配当の方針について	52
質問 2 PBR1.0倍割れの対策について	54
質問 3 当社の強みについて	56
質問 4 成長戦略について	58
質問 5 国際物流の発展について	60
質問 6 人材の確保について	62

0

カンダグループの概要



商号	カンダホールディングス 株式会社
本社所在地	〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町三丁目2番4号
創業	1943年11月
代表者	代表取締役社長 原島 藤壽
資本金	17億7,278万4千円
事業内容	グループ全体の事業活動を統括・管理する
従業員数	連結:5,016名 (2025年3月末日現在 平均臨時雇用者数を含む)
グループ会社	24社 (2025年10月末日現在)
市場区分	東京証券取引所スタンダード
証券コード	9059



創業期

1943年
東京都神田区内の運送会社
16社の統合により発足



1945年
定期路線便の構築



1963年
出版共同配送開始



1991年
カンダコーポレーション(株)へ
社名変更



運送業から物流業へ

1994年
日本証券業協会に
株式を店頭登録



2004年
東京証券取引所
市場第二部へ上場

2006年
流通加工会社
(株)モリコーをグループ化



2009年
持株会社制へ移行
カンダホールディングス(株)へ社名変更

2011年
(株)ペガサスパーセルサービスより
国際宅配事業部門を譲り受け
国際物流事業へ本格的に進出
(現 (株)ペガサスグローバルエクスプレス)



総合物流企業を目指して

2012年
(株)ハーバーマネジメントをグループ化
(現 (株)ペガサスグローバルエクスプレス)

タイ バンコクに現地法人を設立
流通加工会社 (株)ジェイピーエルをグループ化



2014年
国際海上貨物混載会社 ニュースターライン(株)と
ベルトランス(株)をグループ化



2015年
日本物流ネットワーク協力会(JLNA)発足



2017年
低温輸送会社 (株)中村エンタープライズをグループ化



2020年
カンダリテールサポート(株)と
カンダビズパートナー(株)が事業開始



2021年
システム開発会社 (株)ソフトエイジをグループ化



2022年
重量物輸送会社 堀切運輸(株)をグループ化



2023年
会社創立80周年

価値ある物流を未来へ



持株会社



事業会社:国内物流/システム開発

カンドコーポレーション

カンドコアテクノ

カンドリテールサポート

ロジメディカル

カンド物流

埼玉配達

ヤマナシ流通

アサクラ

名岐物流サービス

モリコー

関西配達

ジェイピーエル

中村エンタープライズ

ソフトエイジ

堀切運輸

事業会社:国際物流

ペガサスグローバルエクスプレス

ニュースターライン

ベルトランス

PGEタイ

機能分担会社

カンドビズパートナー

ケイ・コム

神田エンタープライズ

神田ファイナンス

カンドハーティーサービス

■ エリア別 事業拠点数

グループ合計

107 拠点

九州	1
福岡県	1

中四国	1
広島県	1

海外	1
バンコク(タイ)	1



関西	13
大阪府	6
兵庫県	4
京都府	2
三重県	1

中部	11
愛知県	9
山梨県	1
静岡県	1



東北	4
宮城県	3
岩手県	1



関東	76
埼玉県	26
東京都	22
群馬県	12
栃木県	6
千葉県	6
神奈川県	4



2025年10月末日現在

02

事業の概要



■ 開示セグメントの構成

輸配送

路線事業を始まりとし、企業間輸配送、共同配送、店舗配送、冷凍冷蔵輸送、食品宅配など、幅広くサービスを提供

庫内作業

主に卸、小売業者様向けの物流センターを運営
また、輸配送を含めた3PLベンダーとしてサービスを展開

オフィス向けサービス

都内にオフィスを構える企業様の企業内物流サービスを提供

不動産賃貸

倉庫の賃貸、保守管理

国際宅配

大手国際インテグレーターとの長年の取引きをもとに、リーズナブルな国際宅配サービスを提供

フォワーディング

自動車部品や大型機器等の航空、海上輸送を受託
また、青果物の輸入通関～燻蒸処理も特色の一つ

越境EC

越境ECフルフィルメントサービスを提供

現地法人

タイにおける国内国際物流サービスを提供

リース業

リース事業

システム開発保守

システム開発を提供

保険代理店

損害保険代理業

太陽光発電

ソーラーによる売電事業

清掃業

社内向け清掃業（特例子会社）

事務代行業

社内向けシェアードサービス

▶ 国内、国際物流を事業の柱として、それらに付随する不動産賃貸、システム開発等の事業を行っております。

■ 貨物自動車運送事業(国内物流事業)の機能一覧

輸配送

チャーター便 / 共同輸配送
ルート配送 / 冷凍、冷蔵輸送
食品宅配 / 現金、貴重品輸送
液体輸送 / 重量物輸送
建材輸送 / 介護輸送 他
[グループ保有車両台数:848台]



庫内作業

在庫型物流センター運営
通過型物流センター運営
庫内作業請負
流通加工 他



オフィス向け サービス

機密文書保管
事務所移転
企業内メールルームサービス



▷ 企業間の輸配送、卸・小売り向けの物流センター運営、現金輸送や付帯業務まで幅広くサービスを展開しております。

国際物流事業の機能一覧

国際物流事業

国際宅配

翌日発送格安輸出 / 輸入着払い
梱包、書類作成、発送管理 他



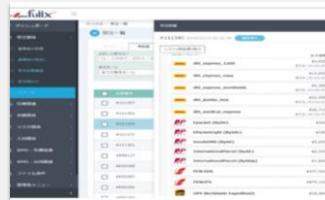
フォワーディング

航空輸送（輸出入）
海上輸送（輸出入）
青果物 輸送、保管
輸出入通関 他



越境EC

通販事業者向けフルフィルメント
海外赴任者向け食料・日用品輸出 他



現地法人

タイ国内物流(庫内・輸配送)、輸出入



▷ 小口宅配貨物から、大型設備、食品まで、豊富な取り扱い実績をもとに様々な国際物流サービスを提供しております。

■ 不動産賃貸事業・その他事業

不動産賃貸

倉庫の賃貸、保守管理



リース業

車両等のリース処理および売却

保険代理店

損害保険の代理店

システム開発保守

ERPソリューション
流通小売り向けソリューション
その他システム開発、保守



太陽光発電

ソーラーパネルによる売電事業



清掃業

オフィス、物流センターの清掃
[特例子会社]



事務代行業

給与計算他 バックオフィス業務

▶ 特にシステム開発などのDX関連業務については今後も注力してまいります。

■ 2025年3月期 構成比率



	構成比率	(参考前年)
医療・薬品・HBC*	28.6%	29.2%
国際	21.3%	20.8%
食品	13.9%	13.6%
出版・印刷物	8.8%	9.6%
生活雑貨	8.7%	8.2%
現金・証券	8.0%	7.9%
段ボール原紙	2.4%	2.3%
システム開発保守**	1.8%	1.7%
不動産	1.7%	1.7%
その他	4.9%	5.0%

* HBC … Health & Beauty Care の略称で健康食品や美容品などが含まれます。
** システム開発保守 … (株)ソフトエイジのグループ化に伴い、新たにセグメント化しております。

- 国内物流において医薬品や食品など生活に密接した商品の構成比率が高く、景気に左右されにくいのが特徴です。
- 前年比で、コロナ禍が明け医薬品関連の特需が終了したこと等により「医療・薬品・HBC」の割合が下がり、輸送量の復調が見られた「国際」と順調に伸長している「食品」の割合が増加いたしました。

1つの業種・業態、企業に偏らない

幅広い営業基盤

メーカー様から小売業様まで
幅広い業種のお客様と取引きがあり、
一つのお客様の業績に左右されない、
安定した事業基盤を有しております。

グループ総合力を活かした

複合的な物流体制

輸配送をはじめとして、3PL・庫内作業
・輸配送・国際物流・システムと、
お客様のビジネス成長を物流面から
トータルサポートをしております。

3,500社のお客様に認められた

きめ細やかなサービス

独自のエリア共同配送や、国際物流に
おける書類作成など、お客様のニーズに
合わせた、きめ細やかな物流サービスを
提供いたします。

[国内物流事業]

保有アセット(物流センター・車両)を
活用した複合的な物流ソリューションを提供



卸、小売業者様向け物流の経験を活かした
ピース単位での細やかな入出荷、付帯作業



エリアを面で押さえる
共同輸配送・店舗配送ネットワーク



医薬品物流におけるGDP※のノウハウを活かした
高品質な商品管理



※GDP:医薬品の適正流通基準(Good Distribution Practice)

[国際物流事業]

大手国際インテグレーターとの提携で実現する
低価格な輸出入サービスを提供



仕分け・梱包や煩雑な書類作成の代行など
発送に関する様々な付帯業務を代行



自社開発「最適輸送選択システム」の活用で
発送担当者様の業務負担を低減



タイに生産拠点を構えられた日本企業様に対して
現地での物流も全面的にバックアップ

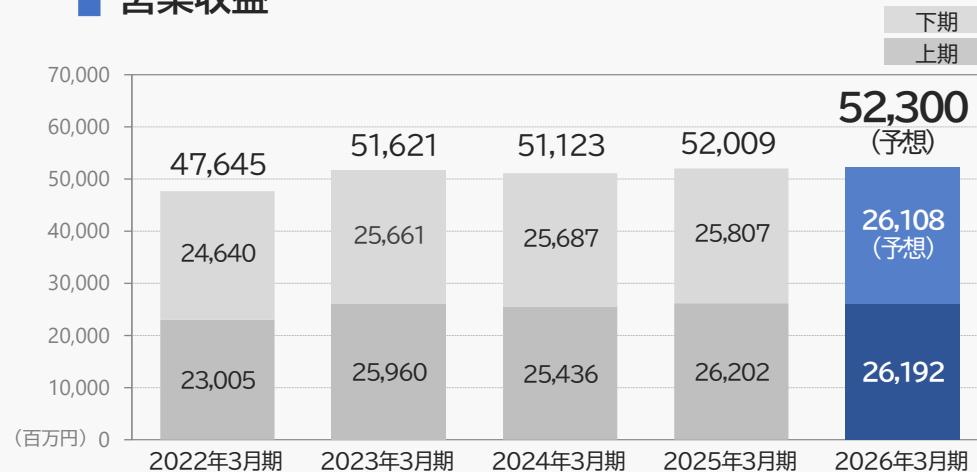


03

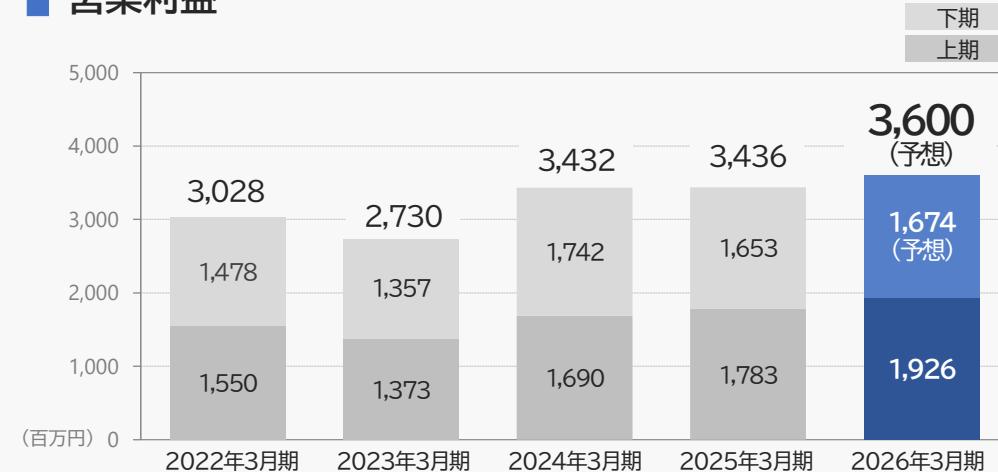
2026年3月期 第2四半期 連結決算概要



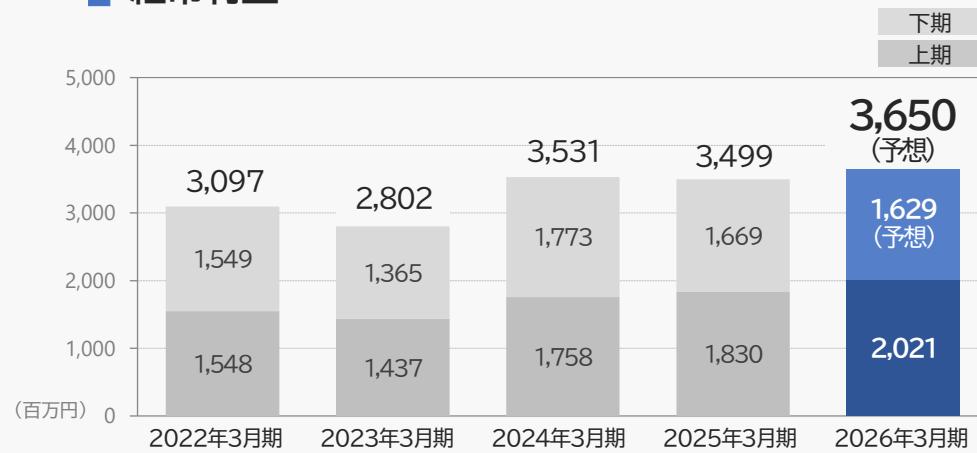
■ 営業収益



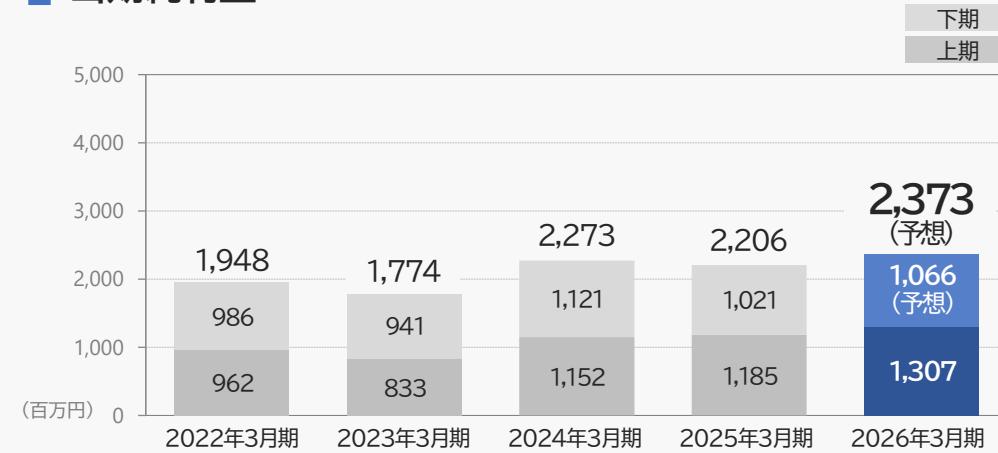
■ 営業利益



■ 経常利益



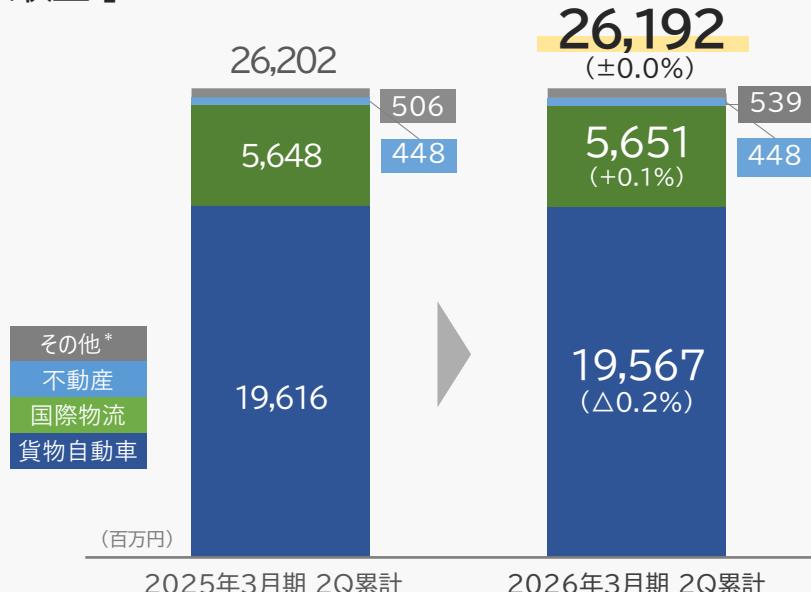
■ 当期純利益



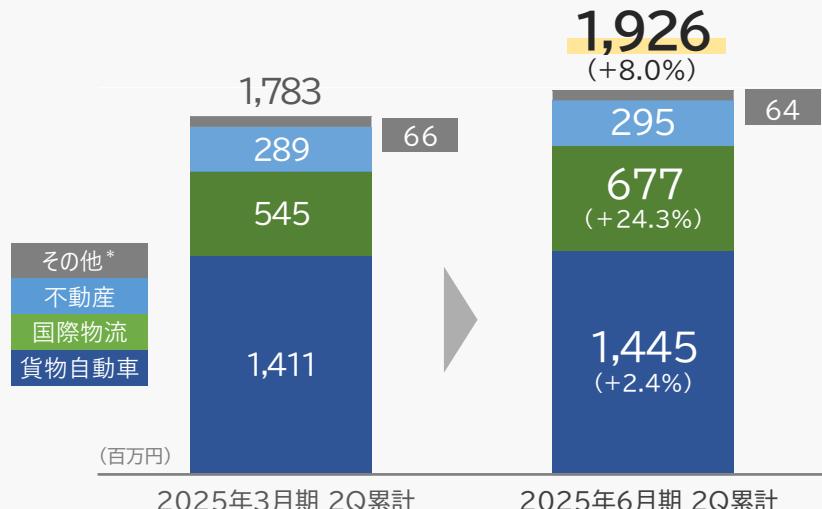
当期2Q累計期間においては、国内物流における既存取引先の取扱量減少等により収入は横ばいとなったものの、業務効率化や運賃改定などの取組みと、国際物流における取扱量が堅調であったため過去最高益となりました。

■ セグメント別業績 (第2四半期累計実績)

[営業収益]



[営業利益]



*連結調整額：前期△16百万円 当期△15百万円
調整額はセグメント間の内部売上高または振替高です。

*連結調整額：前期△529百万円 当期△556百万円
調整額は各報告セグメントに配分していないHD管理部門の費用です。

*「その他」セグメント：リース業、コンピュータソフト開発保守業、保険代理店業、部品販売業、太陽光発電業、清掃業、事務代行業の総額です。

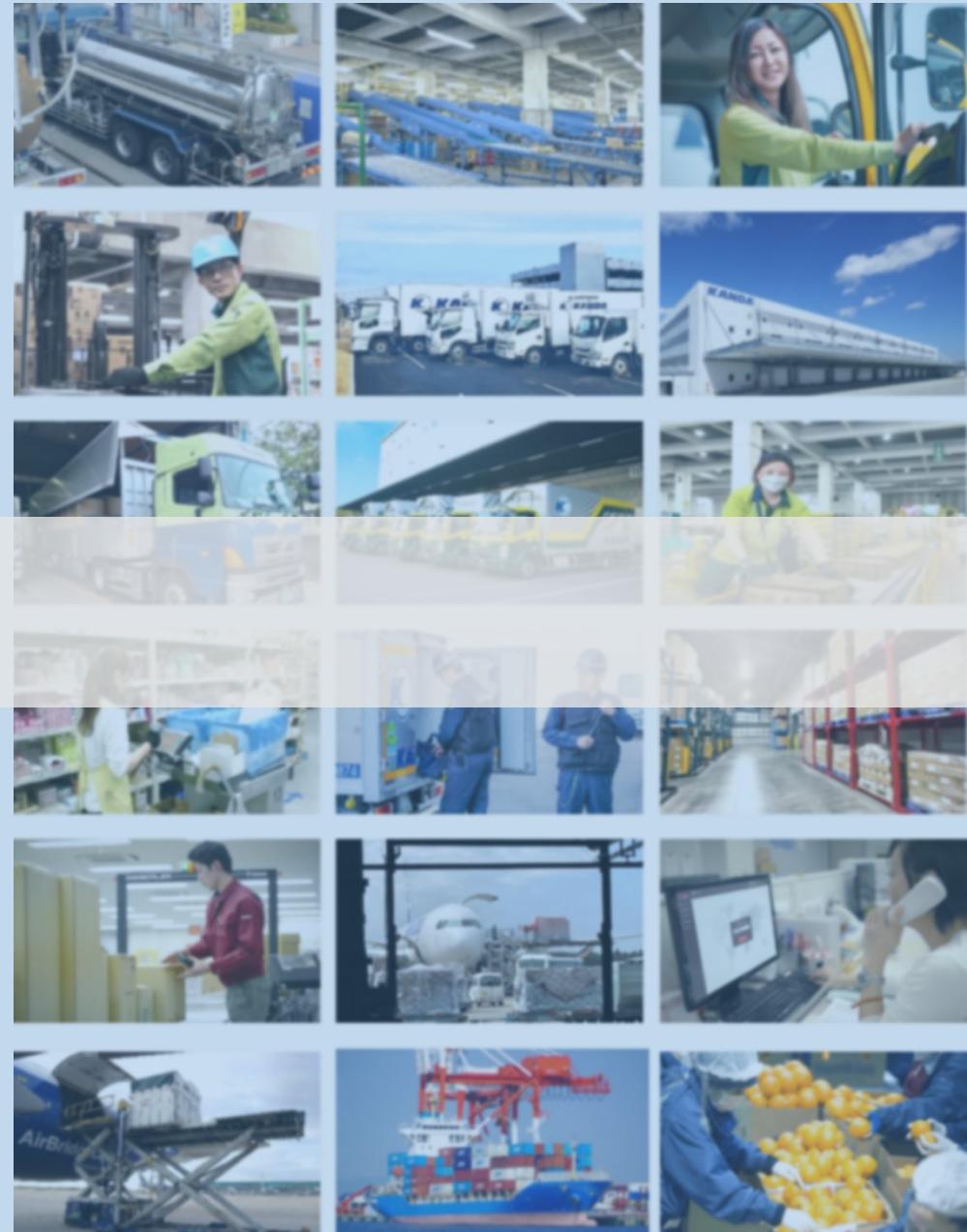
国内部門

一部取引先における**貨物量の減少やコスト上昇の影響**を受けましたが、**既存取引の拡大や運賃改定が寄与**。適正運賃の確保および効率的な運行管理の推進により、**収入は横ばいとなったものの増益**となりました。

国際部門

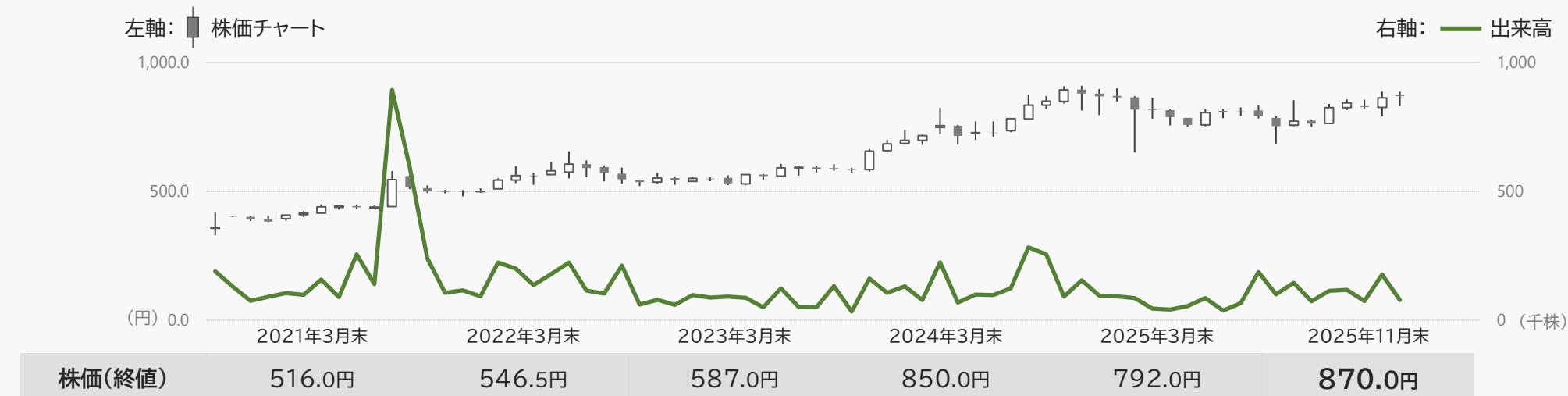
海上運賃の仕入原価上昇等の影響を受けたものの、**クーリエにおける貨物取扱量は回復傾向**となりました。加えて、コスト管理の徹底や新規・既存案件の獲得に努めた結果、**微増収・大幅増益**となりました。

04 株価と配当推移



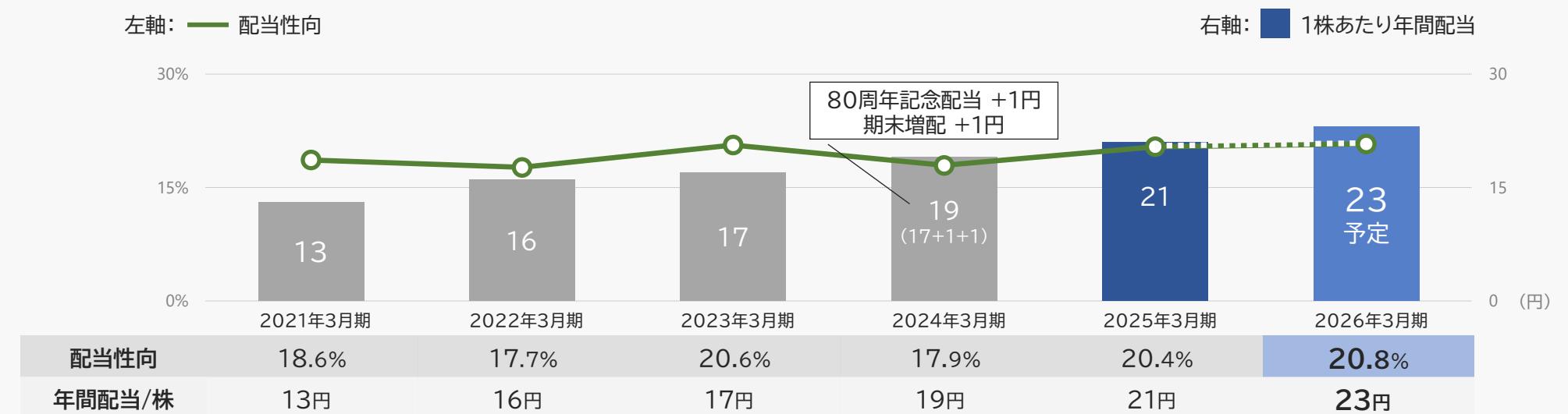
■ 株価・出来高

※2023年6月30日、1株につき2株の割合で実施した株式分割に伴い、それ以前についても当時の2分の1の「株価」で表示しております。



■ 配当・配当性向

※株価と同様、「配当額」は当時の2分の1に置き換えて表示しております。

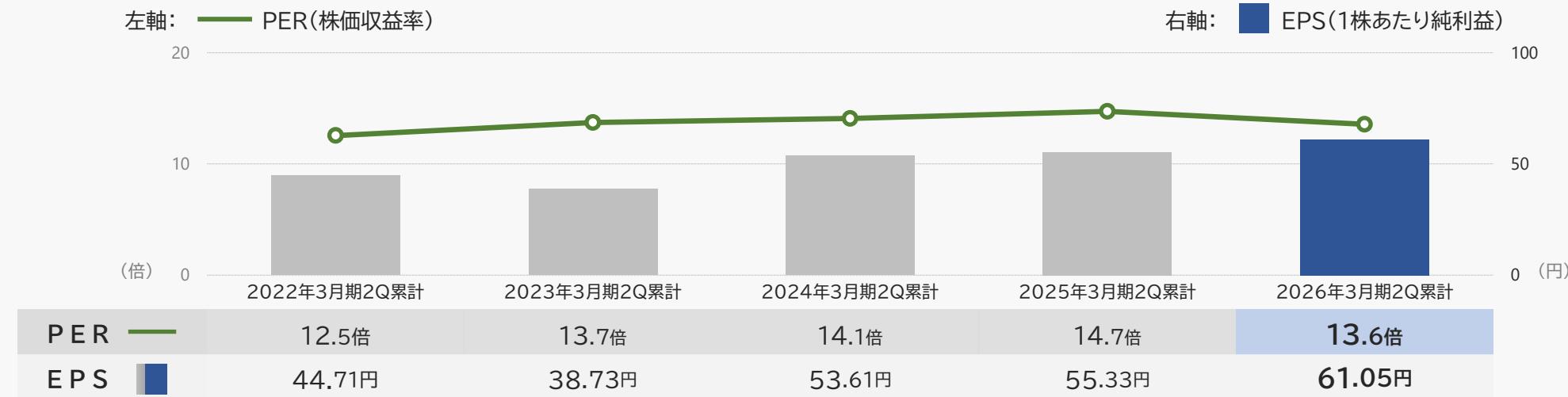


第2四半期連結累計 株価指標推移



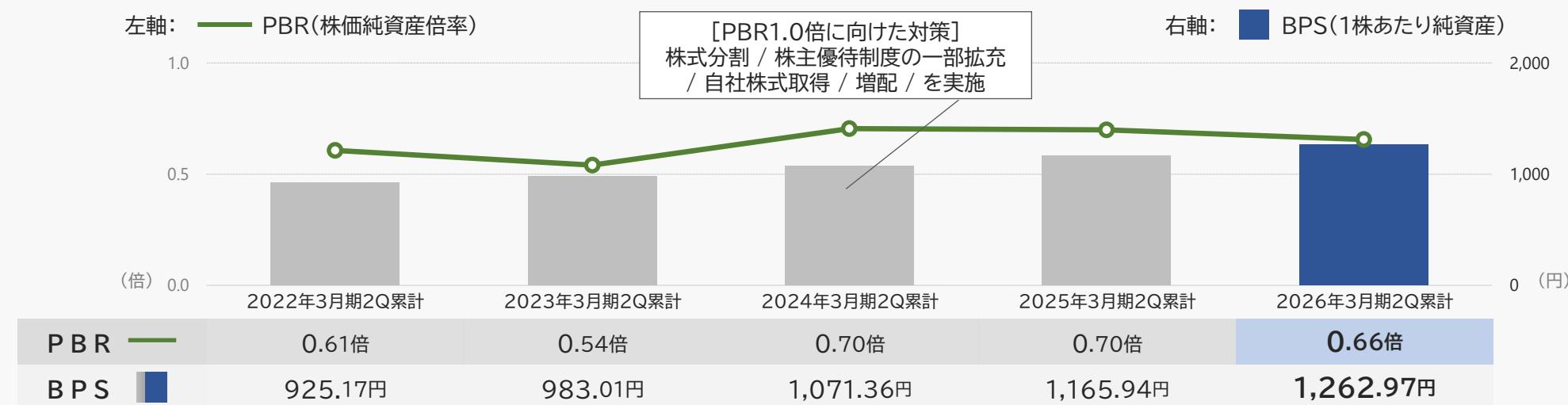
■ PER・EPS

※EPSは株式分割に伴って当時の2倍の「発行済株式数」を用いて算出しております。



■ PBR・BPS

※BPSは株式分割に伴って当時の2倍の「発行済株式数」を用いて算出しております。



■ 株主優待制度

保有株式数	株主優待
100株以上	図書カード 1,000円分
1,000株以上	図書カード 2,000円分
2,000株以上	図書カード 3,000円分
4,000株以上	図書カード 4,000円分
6,000株以上	図書カード 5,000円分

対象:毎年3月31日現在の当社株主名簿および実質株主名簿に記載された100株以上保有の株主様

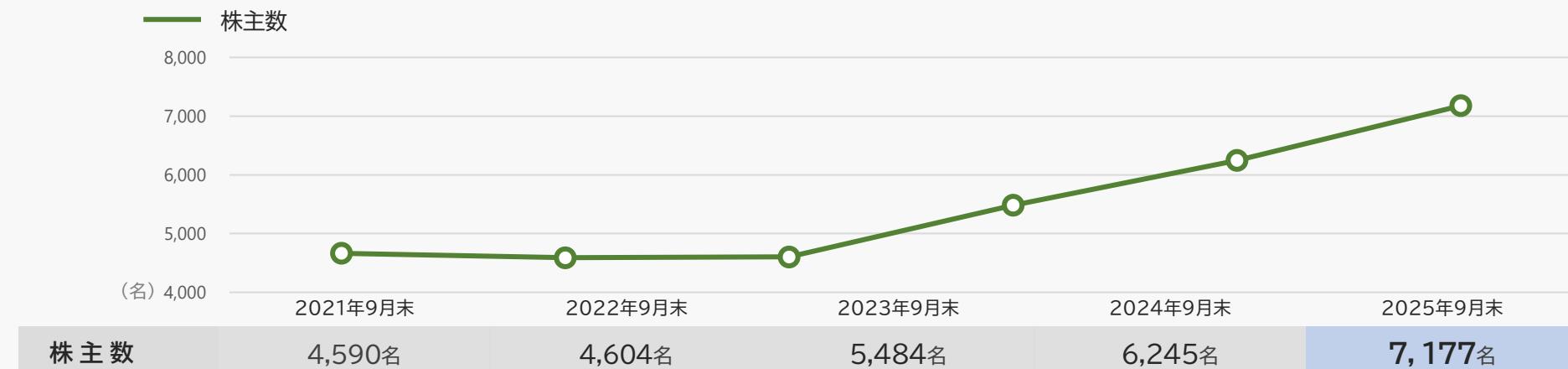


■ 配当利回り

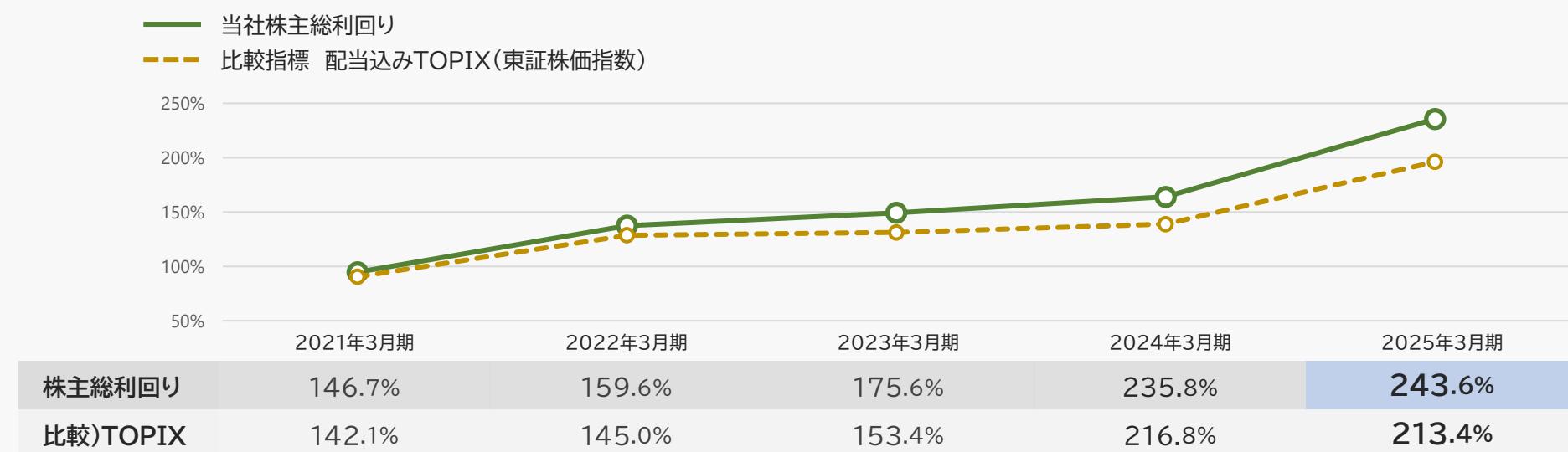
単元株 100株を 株価 870円※ で購入いただくと… ※ 2025年11月28日終値

配当 2,300円 + 株主優待 1,000円 ▶ 実質配当金額 3,300円 配当利回り **3.79 %**

■ 株主数推移



■ 株主総利回り



■ 当社のことを広く知っていただくため、様々な広報活動を実施いたしました。

個人投資家説明会のオンデマンド開催



公式Youtubeチャンネルの開設



各種メディアによる広報活動（活動の一部を抜粋）



ラジオCM
2025年7月～12月
FM NACK5 毎金 17:55

テレビ番組
2025年3月6日放送
テレビ埼玉「彩の国 就活天国」

プロバレーボールチーム 東京グレートベアーズとのパートナー契約締結



▷ 認知度向上による株主数の増加(=企業価値向上)と採用促進の一環として実施いたしました。
今後も様々な媒体を活用することで、認知度向上に努めてまいります。

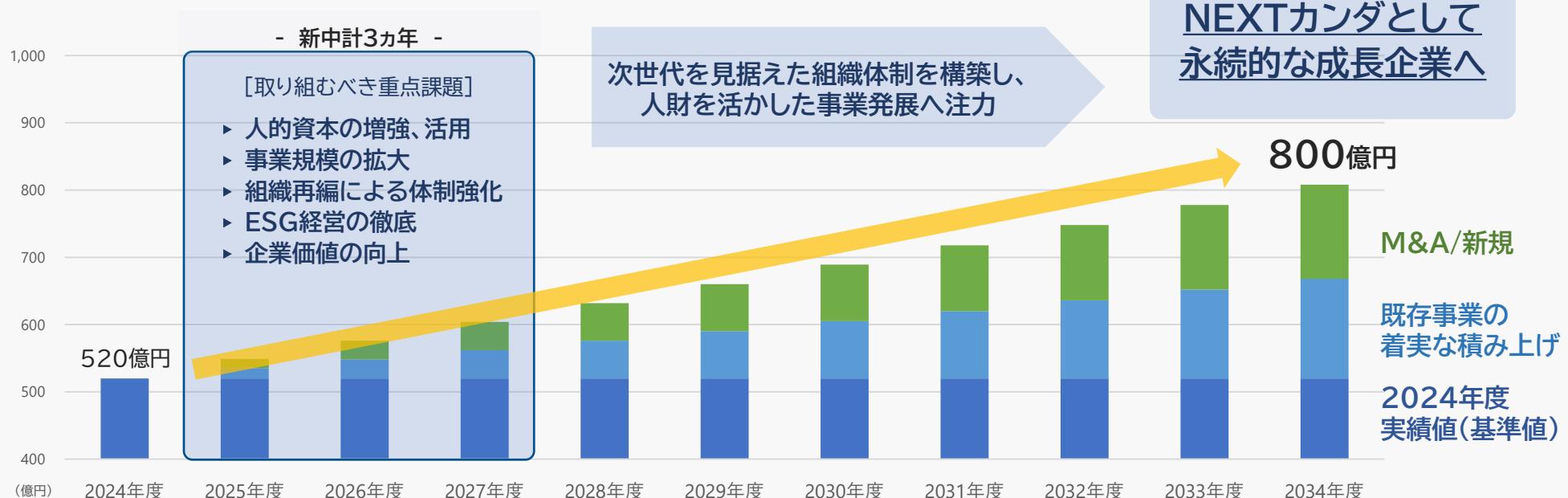
05 中期経営計画 2025年4月～2028年3月



■ 10ヵ年における基本方針

- 10年後 売上高800億円規模を達成し、創立100周年とその先まで成長を続ける企業を目指す
- お客様のニーズに全力で応える（当社の礎であり、大手にはできない細かな対応こそが強みである）
- 未来に向かって挑戦する（未来志向の経営を推進し、新たな価値創造に向け挑戦する）
- 和の精神を大切にし、すべてのステークホルダーに多くの笑顔を届ける（当社が提供すべき価値）

■ 10ヵ年の成長イメージと新中計3ヵ年の位置づけ



■ スローガン

One Step Ahead (一歩先へ) ~新たな改革と挑戦で成長し続けよう~

■ 基本方針と骨子(イメージ図)

中計3カ年の重点項目

グループの持続的成長&10年後のあるべき姿の実現

(1) 事業成長・収益力の向上

既存事業の成長・転換

インフラ事業の拡大
(共配・幹線)

国際物流の強化

新規事業への挑戦

当社の強みである「きめ細やかな物流サービス」の提供を通じて既存事業の成長と新規事業への進出を目指します。

(2) 物流機能強化

当社の事業基盤である
実物流(庫内・配送業務)
の機能強化に取組んでまいります。

配送・庫内作業の強化
DXの推進アセット(施設・車両)
の有効活用M&A/協業による
物流機能の増強・拡大

(4) 組織改革

物流機能強化と人的資本の
有効活用を図るため、
組織改革を進めてまいります。

(3) 人的資本強化

人材こそ最大の経営資源と位置づけ、
従業員がその能力を最大限に
発揮できる環境構築を目指します。

採用の強化

職場環境整備
(多様性・女性活躍・教育)

チャレンジ精神の醸成

(5) ESG経営の推進 (CSR・SDGs)

環境に配慮した
経営の推進社会に必要とされる
企業への取組み継続透明かつ公正な
経営の実践

ESGを経営の根幹とし、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、企業の永続的な発展を目指して取組んでまいります。

本中計では10年後のカンダグループを見据え、持続的成長に必要な「物流機能と人的資本経営の強化」に注力いたします。
相互に支え合う組織改革を進め、グループ全体の総合力を発揮して、事業成長と収益力の向上を目指します。

■ 中期経営計画 骨子

(1)	事業成長・収益力向上	既存事業の成長・転換 インフラ事業の拡大 国際物流の強化 新規事業への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> 既存事業の成長と転換を図るとともに、新規事業への進出を目指します。 「物流を通じて社会の発展に貢献します」の理念のもと事業の拡大を目指します。 国内企業の海外進出を支援するため、国際物流の強化に取組んでまいります。 新規事業の開発や新たな業態への進出に積極的に挑戦してまいります。
(2)	物流機能の強化	物流機能の強化 アセットの有効活用 M&A・協業	<ul style="list-style-type: none"> 当社グループの基盤である実物流機能のさらなる強化を図ります。 アセット保有を当社の強みと位置づけ、増強と有効活用を図ります。 M&Aや協業を積極的に取組んでまいります。
(3)	人的資本の強化	採用強化 環境整備 チャレンジ精神の醸成	<ul style="list-style-type: none"> 採用を強化し組織の活性化と発展を目指してまいります。 「和の精神」を根幹に従業員が長く活き活きと働く環境の整備を進めてまいります。 従業員が新たなチャレンジに積極的に取組める風土の醸成に努めてまいります。
(4)	組織再編による体制強化	グループ会社の組織再編 HD機能の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 人材も含めたアセットの有効活用を図り、事業成長を加速させます。 経営の効率化を目的に、管理部門の改革を進めてまいります。
(5)	ESG経営の推進	継続した取組みの実施	<ul style="list-style-type: none"> ESGを経営の根幹に据え、サステナブルな取組みを継続してまいります。

■ 連結計数計画 サマリー

[営業収益]



[経常利益]



本中計3カ年においても、日本経済における市場縮小、ドライバー不足、労働時間規制、コスト増加など、依然として厳しい経営環境が続くことが予想されます。しかしながら、当社はお客様本位の物流サービスを強みに一步ずつ歩みを重ねることで、毎年の增收増益を目指します。

■ 連結計数計画 詳細

2025年3月期 前中期経営計画最終年度		2026年3月期(1年目) 計画値	2027年3月期(2年目) 計画値	2028年3月期(3年目) 計画値	増減(28/3 - 25/3) 3年目計画値比較
営業収益	52,009	52,300	54,200	56,500	+4,491
国内	40,942	40,966	42,119	43,558	+2,616
国際	11,067	11,334	12,081	12,942	+1,875
経常利益	3,499	3,650	3,900	4,000	+501
国内	2,411	2,547	2,729	2,757	+346
国際	1,088	1,103	1,171	1,243	+155
経常利益率	6.7%	7.0%	7.2%	7.1%	+0.4%
国内	5.9%	6.2%	6.5%	6.3%	+0.4%
国際	9.8%	9.7%	9.7%	9.6%	△0.2%
当期純利益	2,206	2,373	2,535	2,600	+394
自己資本比率	54.3%	58.3%	63.8%	60.2%	+5.9%
D/E レシオ	0.26	0.20	0.34	0.42	+0.16
ROE	8.9%	8.9%	8.8%	8.5%	△0.4%

- 上記の「国内」には開示セグメントである貨物自動車運送事業、不動産事業、その他事業が含まれています。
- 2027年4月に適用される新リース会計基準につきましては、本計画に見込んでおりません。

■ 連結キャッシュフロー計画

2025年3月期 前中期経営計画最終年度		2026年3月期(1年目) 計画値	2027年3月期(2年目) 計画値	2028年3月期(3年目) 計画値
営業CF	3,796	3,693	4,125	4,190
減価償却費	1,711	1,711	1,711	1,711
当期純利益	2,206	2,373	2,535	2,600
その他	△121	△121	△121	△121
投資CF	△1,132	△775	△7,785	△6,400
車両		△525	△535	△550
物流センター	△1,095	0	△6,000	0
機械・システム	-	△200	△1,200	△800
ESG	-	△50	△50	△50
その他	△37	0	0	△5,000
財務CF	△1,760	△1,471	4,075	2,521
返済	△1,045	△1,000	△1,000	△1,000
借入	0	0	5,600	4,100
その他	△715	△471	△525	△579

■ 投資計画

項目	2026年3月期(1年目) 計画値		2027年3月期(2年目) 計画値		2028年3月期(3年目) 計画値	
車両	代替、増車	525	代替、増車	535	代替、増車	550
物流センター	新規取得	0	新規取得	6,000	新規取得	0
DX	機械・システム	200	機械・システム	1,200	機械・システム	800
その他	職場環境・工コ・M&A 他	50	職場環境・工コ・M&A 他	50	職場環境・工コ・M&A 他	5,050
合計		775		7,785		6,400

■ 主な投資計画の概算

[車両関連]



3ヵ年計
約150台購入
16億円

[物流センター]



新規取得
新築 or 中古物件
60億円

[DX関連]



省人・省力化+
システム刷新等
22億円

[M&A]



3ヵ年で
1~2件成約
50億円

[環境・地域]



職場環境改善
CO2削減 他
1.5億円

06

今期の経営方針と今後の取組み



未来に向けた新たな一歩にチャレンジしよう

今期の方針～未来に向けた5つのチャレンジ～

1. 『新規業務の獲得』にチャレンジ！

- ▷ 営業力の強化
- ▷ 新規事業への提案制度
- ▷ M&Aの推進



2. 『現場力の強化』にチャレンジ！

- ▷ 自社雇用従業員の充実
- ▷ 実運送を担う協力会社の充実
- ▷ DX化の推進
- ▷ グループ会社の組織再編
- ▷ チェック機能の強化



3. 『人財づくり』にチャレンジ！

- ▷ 新卒および中途採用の強化
- ▷ 教育の強化
- ▷ コンプライアンスの強化
- ▷ 明るい職場づくり
- ▷ ダッシュ(QC)活動の推進
- ▷ CSRの推進 ※SDGs、ESG経営の推進



4. 『事故防止』にチャレンジ！

- ▷ 交通事故防止運動の刷新
- ▷ 安全衛生委員会の強化

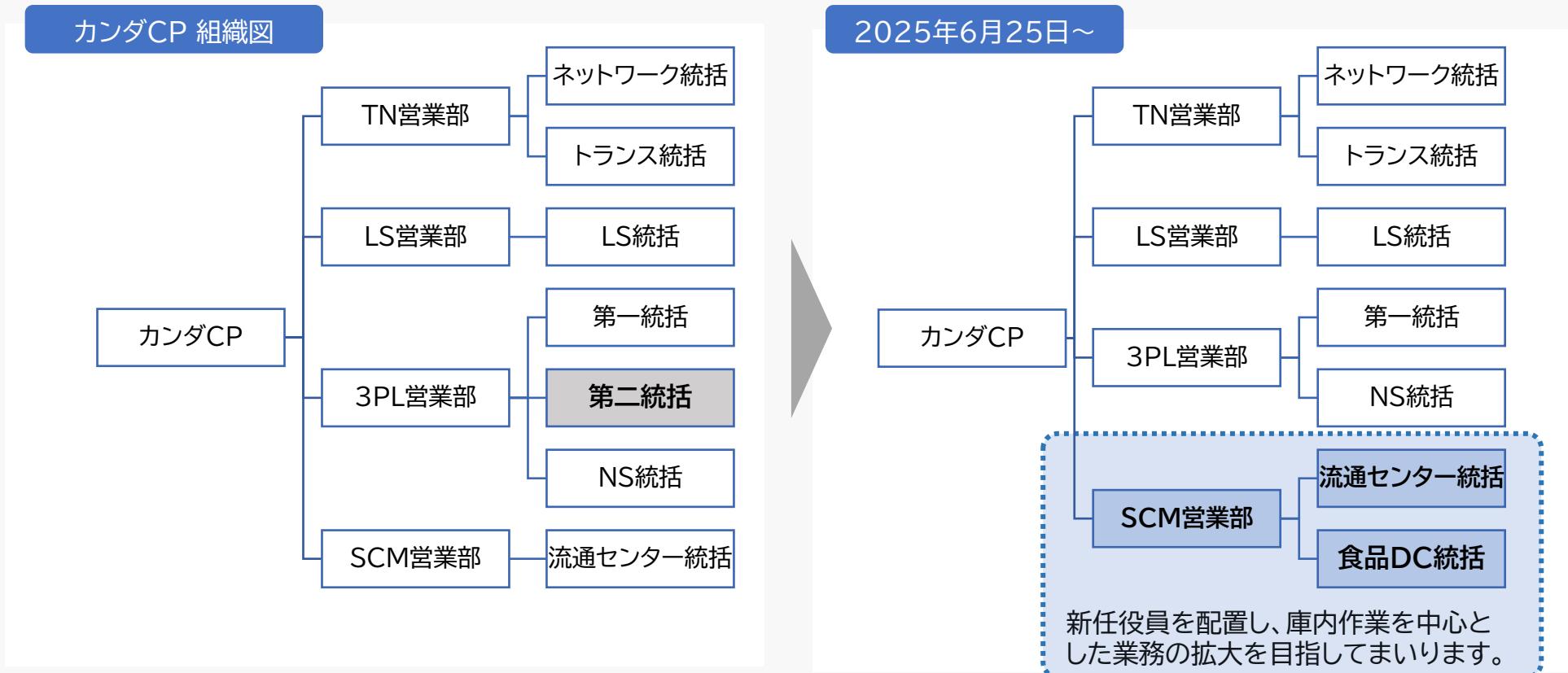


5. 『過去最高益』にチャレンジ！

- ▷ 営業収益 523億円 / 経常利益 36億5,000万円

■ 2025年6月 主要事業会社であるカンダコーポレーションでは組織再編を実施いたしました。

※事業会社であるカンダコーポレーションでは、2025年6月25日付で新たな役員を選任いたしました。
それに伴って業務運営体制を再構築し、事業拡大に向けた取組みを進めてまいります。



■ 2025年11月 主要事業会社であるカンダコーポレーションによる孫会社2社の吸収合併を決議いたしました。

※2026年4月1日付でカンダコーポレーションを存続会社とした、その子会社であるロジメディカルおよび名岐物流サービスの吸収合併を行います。この合併により営業力・組織力を強化するとともに経営効率の向上を目指します。

名称	カンダコーポレーション(株) (存続会社)	(株)ロジメディカル (消滅会社)	(株)名岐物流サービス (消滅会社)
所在地	東京都千代田区神田三崎町三丁目2番4号	埼玉県加須市新利根二 丁目7番地	愛知県小牧市大字岩崎2770番地4
設立	2008年5月2日	2006年12月13日	1996年11月19日
従業員数	1,526名 (2025年3月末日現在 臨時雇用者数を含む)	1,280名 (2025年3月末日現在 臨時雇用者数を含む)	50名 (2025年3月末日現在 臨時雇用者数を含む)
車両台数	43台	60台	45台
拠点	21拠点(東京都、埼玉県他)	15拠点(埼玉県、愛知県、大阪府他)	2拠点(愛知県)
業務内容	物流センター運営、輸配送業務全般	HBCの小売り、卸業様を中心とした物流センター運営、輸配送業務全般	出版物流を中心とした輸配送業務



▷ 経営資源の有効活用を図り、実物流機能を強固なものにすることが事業の更なる発展に繋がるものと考え、今後もグループの組織再編を進めてまいります。

■ 中期経営計画に掲げる事業成長と収益力向上を目指し「新規事業提案制度」を開始いたしました。



あなたのアイデアが 会社の未来をつくる！

～新規事業提案制度 スタート～

提案から実現までの流れ

- アイデア受付・一次評価
- 経営会議で審議
- 計画策定と実行検討



応募方法

専用の応募フォームから以下の項目を入力ください

- 所属・氏名
- アイデアのタイトル
- 事業の概要（何を/誰に/どのように）
- 事業との関わり方
- 連絡先



<https://forms.office.com/r/1g1AA0rheV>

日々の気づきがグループの次の主力事業に！
どんな小さなアイデアでも歓迎いたします。

特に優れたアイデアには社長賞の授与を予定しています。ご応募お待ちしております！

【問い合わせ先】  カンダホールディングス株式会社 経営企画室

☎ 03-XXXX-XXXX

✉ XXXX@kanda-web.co.jp

[目的]

新規事業の開発や新業態への進出は、将来に向けた重要な取組みと捉えており、その一環として、全社員を対象とした「新規事業提案制度」を新たに開始しました。

これは、今期より開始した中期経営計画内で成長戦略として掲げている、「事業成長・収益力向上」および「チャレンジ精神の醸成」を目指したものであり、日々の業務で得た気づきや発想を経営に活かし、新たな価値の創出につなげていくことを目的としております。

[提案から実行までのプロセス]



実現性等について検証

	収益性	実現性	他
案1	○	◎	
案2	△	×	

その他、事業シナジーなど

PJ組成

事業化に向けた検討



▷ 事業成長はもとより、全ての従業員を対象とし幅広く意見を吸い上げることで活気のある職場を作ること、また、新たな事業を開発～運営していくける人財の育成にも寄与するものと取組んでまいります。

■ 省人化・省力化の一環として点呼支援ロボットを用いた自動点呼システムを導入いたしました。

【当社の導入状況】 カンダコアテクノ1営業所 / 関西配送1営業所 / アサクラ2営業所 / 中村エンタープライズ1営業所 計5営業所で稼働中



[自動点呼]とは

従来、運行管理者等が運転者と対面で実施していた、運送事業における点呼(運行の安全を確保するために必要な指示等)を、認定機器およびシステムによって実施するものです。

早朝、深夜、休日を問わず対応していた点呼業務を、運行管理者等が営業所に常駐していない状況でも実施することができる、業務効率化、運行管理者等の人手不足の解消につながります。

また、「業務後」に限って認められていたこの自動点呼ですが、2025年4月30日付の告示改正によって「業務前」の実施も可能となりました。

- 点呼支援ロボットの導入により、24時間365日の対応が必要であった運行管理者の業務負担は大幅に軽減されます。今後もこれら省人化・省力化につながる取組みを継続してまいります。

■ 株式会社ロジメディカルでは保有営業車両すべてに「車両衝突防止補助システム」を導入設置をいたしました。

[車両衝突防止補助システム(モービルアイ)とは]

車載カメラを使用したAI画像認識技術を搭載する衝突防止補助システムです。車両設置した機器で、前方の車両、車線、歩行者などを常にモニタリングし、衝突の危険が迫ると警報音とアイコン表示で警告することで、交通事故を未然に防ぐシステムです。

[5種類の警報機能]



[データ連携による一元管理]



デジタコ連携により警報通知を事務所PC上に表示させることができます。事務所ではリアルタイムに運行情報を把握。

その実績データを集約することで、個々のドライバーの運転特性に応じた安全教育の実施に活用しております。

▷ 安全で確実な物流サービスを提供すべく、DXを活用した事故防止に積極的に取組んでまいります。

■ 拠点の増設に向けて、土地取得から建設と、中古物件の取得の両面で取組んでまいります。

現状において自社施設はおおよそ満床であり、今後も新規業務の獲得、既存業務の拡大を目指していく上で、自社物流センターの増設は必須であると考えており、建設と中古物件取得の両面で検討を進めております。

[取得希望エリアと目的]

希望エリア	<p>南関東： 東京都北部、埼玉県南部、神奈川県県央など 北関東： 群馬県高崎市など 中京： 愛知県小牧市、大府市など 関西： 東大阪市、守口市など</p>
目的	<ul style="list-style-type: none">新規業務の獲得に向けた拠点配置既存業務の業容拡大を踏まえた対応拠点集約による業務の効率化施設老朽化に伴う代替賃貸から自社施設への切り替え など



▷ 施設を自ら保有することで、賃料の変動に左右されない安定的な物流サービスの提供を目指します。

■ グループの更なる成長を目指してM&Aについても積極的に展開してまいります。

グループの成長を目指していく上で、また物流2024年問題など物流を取り巻く厳しい経営環境に対処していくため、同業種のM&Aや提携を積極的に推進し、事業継続性の確保と業容の拡大を図ってまいります。

[目的とターゲット]

目的	新規荷主の獲得	M&A対象企業の荷主に対し、当社が持つ多様なサービスの提供(顧客深耕)
	実物流機能強化	輸配送、庫内作業、人材派遣など実物流機能の強化
	新たな物流機能の獲得	例) 重量物輸送(堀切運輸) / システム開発(ソフトエイジ)
	重点エリアの強化	関東・中京・関西エリアにおける当社資産(車両、施設、人材)の有効活用
ターゲット	輸配送	BtoB小口貨物 / 冷凍冷蔵(医薬品、食品) / エリアに特化した配送網
	出入荷	ピース作業 / 流通加工 / EC関連 / 食品関連
	流通加工	セット組み、検品など付帯機能
	国際物流	越境EC / フォワーダー(航空、海上) / 海外日本法人に向けた現地物流
	その他	物流子会社 / 物流関連システムの開発 など

▷ 様々な企業と結集することで相互に高めあい、より効率的で健全な経営基盤へと強化を図ることで、「物が運べない」と言わる時代に共に立ち向かっていきます。

07 ESG・SDGs



■ 「物流を通じて社会の発展に貢献します」の理念のもと、サステナブルな経営を実践してまいります。

ESGの基本的な考え方

環境 [Environment]

生活に密接した物資を輸送するという大切な使命を果たしながら、このかけがえのない地球環境を守っていく活動を推進してまいります。

社会 [Social]

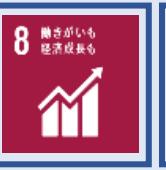
社会貢献活動を通じて良き企業市民としての役割を果たし、社会に必要とされる企業を目指してまいります。

企業統治 [Governance]

ステークホルダーの立場を踏まえ、透明・公正かつ迅速・果断な意思決定を行なうべくコーポレートガバナンスの実践に取組んでまいります。

▷ ESGを経営の根幹と定め、会社の持続的成長と企業価値の向上に取組んでまいります。

当社が推進する GOALS

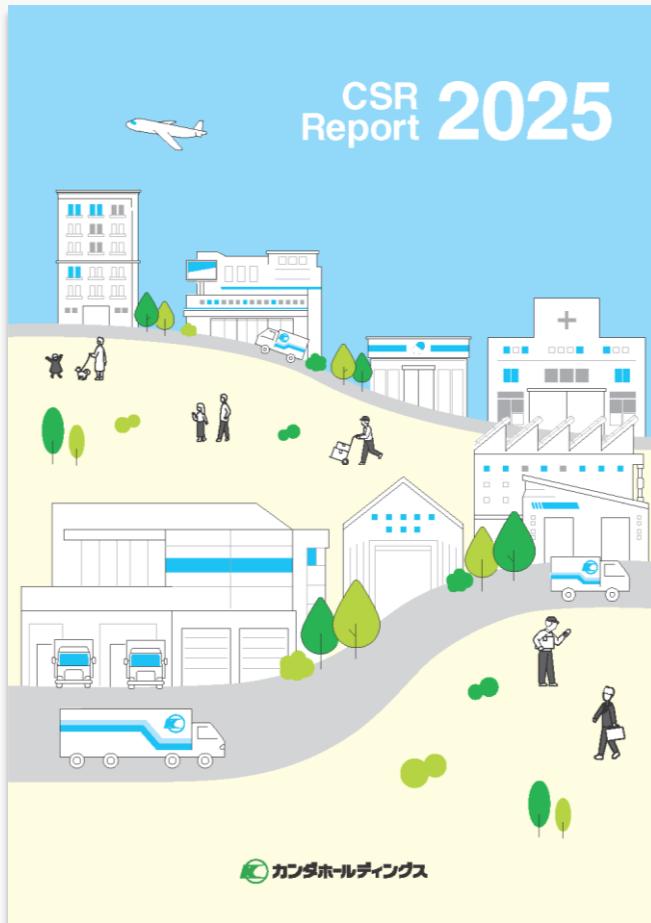


※ 青枠 当社が特に注力していくGOALS

▷ 環境や人に配慮した事業活動を通じ、新たな技術革新をしていくことで、GOALSの達成に向け貢献してまいります。

「物流を通じて社会の発展に貢献します」

■「CSRレポート2025」より活動を一部抜粋



[太陽光発電]
自社物流センターの遊休スペースである屋上部分にソーラーパネルを設置し、太陽光発電による再生可能エネルギーとして、売電事業を行っております。（2024年度実績 1,971,072 kWh）



【環境配慮型車両】

2025年3月 グループ初となるFCEV(燃料電池)トラックを試験導入いたしました。FCEVに限らず、今後も環境にやさしい物流の提供を目指して取組んでまいります。



【障がい者雇用】

障がいを持つ方々の雇用機会の場と、その能力を充分に発揮していただきながら安心して就労できる職場環境を提供するため、カンダハーティーサービス株(特例子会社)を設立しております。

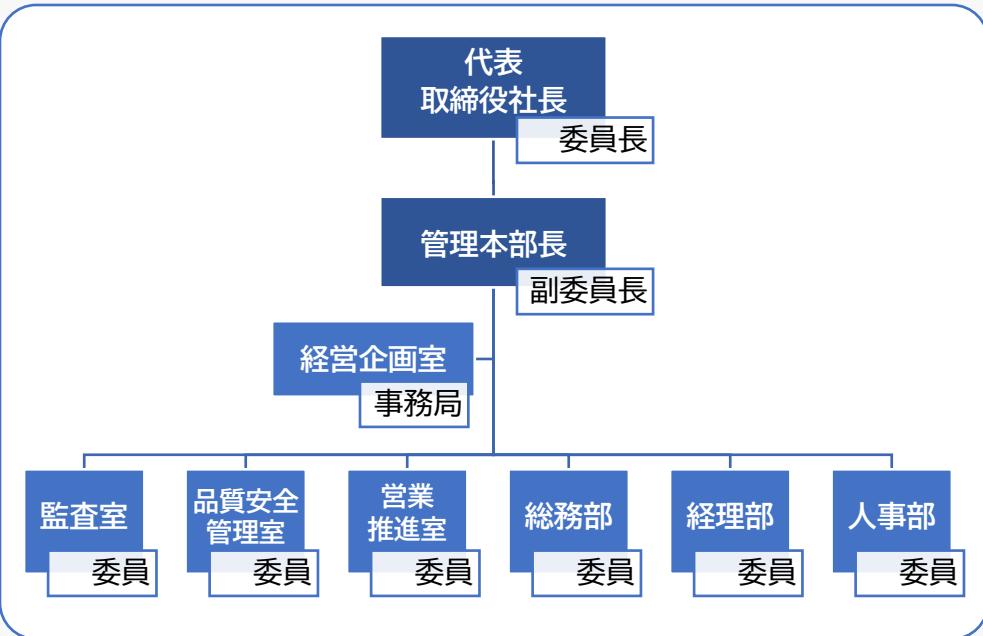
- ▷ その他の取組みは当社ホームページに開示しております「CSRレポート」をご覧ください。
- ▷ これからも積極的なCSR活動に取組んでまいります。

当社HPへのリンク



■ 中期経営計画「ESG経営の推進」を実現すべくサステナビリティ推進委員会が発足されました。

[委員会組織図]



[マテリアリティ案]

- 1 環境
- 2 安全・品質
- 3 人財
- 4 パートナシップ・SCM
- 5 ガバナンス・コンプライアンス
- 6 地域貢献
- 7 事業成長

全社的な取組みとして、社長を委員長に据えた「サステナビリティ推進委員会」を設置いたしました。本委員会を通じて、「中長期的な方針および目標の策定」、「施策の統括と進捗管理」、「ガバナンスの強化と意思決定の透明性確保」について推進をしてまいります。

▶ 本委員会で定めるサステナビリティの方針および各項目の目標等については、2026年6月開示の有価証券報告書および当社ホームページ等で開示をしていく予定です。

「うんこドリル くらしと物流」の無償配布



■ 発行した「うんこドリル くらしと物流」を、全国の希望する小学校278校に向けて約3万部を無償配布いたしました。

[うんこドリルとは]

設問に「うんこ」を用いることで「勉強を楽しく好きになってもらう」を目的としたシリーズ累計1000万部を発行する大人気の学習教材です。中でも「うんこ啓発ドリル」は、様々な企業や官公庁と連携し、子どもたちに「生きるための知識」を楽しく学んでもらえる教育コンテンツとなっております。



[東京都千代田区 寄贈式]



2025年7月 千代田区庁舎にて寄贈式が執り行われ、当社社長の原島より
千代田区教育委員会堀米教育長へ贈呈し、感謝状を頂きました。

[埼玉県蓮田市 寄贈式]



2025年10月 蓼田市役所にて寄贈式が執り行われ、カンダCP取締役の横田より
蓮田市教育委員会西山教育長へ贈呈し、感謝のお言葉を頂きました。

▷ 子どもたちに「社会における物流の重要性」を楽しく学んでもらうため、
日ごろお世話になっている上記の2地域を始めとして、全国の小学校に向けて無償配布を実施いたしました。

■ 制度化された「二つ星認証」において、申請していた全ての営業所で認証を取得しております。

【当社の認証取得状況】※グループ合計25営業所で「二つ星認証」を取得しております。

カンダコーポレーション(株) 5営業所 / (株)カンダコアテクノ 7営業所 / カンダリテールサポート(株) 4営業所 / カンダ物流(株) 8営業所 / (株)名岐物流サービス 1営業所

【二つ星認証の審査要件】

認証項目	判定内容（一部抜粋）
1. 法律遵守	労働基準法、36協定等の違反有無
2. 労働時間・休日	長時間労働の管理、休日取得への取組み状況
3. 心身の健康	健康診断の実施、ハラスメント相談窓口の設置状況
4. 安心・安定	定年延長制度の有無、時間外手当の支払い状況
5. 多様な人材の確保・育成	運転免許取得支援制度の有無、女性運転手の働きやすさ
6. 自主性・先進性等 ★★	上記1～5における自主的、先進的な取組みの実施 ★★二つ星取得要件

「働きやすい職場認証制度」について

制度の概要につきましては、公式ホームページおよび当社の従業員も出演するweb CMをご覧ください。

※ 当制度のHP: <https://www.untenshashokuba.go.jp/>

※ 当社HP 該当ページ: <https://www.kanda-web.co.jp/csr/untenshashokuba/>

※ ウェブCM (YouTube): <https://youtu.be/MA4Qxxwh9E>



YouTubeの動画は
こちらのリンクから



▶ 本認証を、就職希望者に選ばれる企業、また従業員が長く働きなくなる企業の指標と考え、取組みを進めております。今後も、より良い認証取得を目指して継続して取組んでまいります。

■ 「物流を止めない」～災害への備え～

[基本方針]

- 従業員とその家族の安全・安心を最優先に活動します。
- 施設、設備についての予防措置及び支援物資の確保を行います。
- 事業存続及び早期復旧を目指した体制を確立します。
- 地域社会の一員として貢献します
- 従業員の定期的な教育訓練と計画の定期的な見直しを行います。



[食料・飲料水の備蓄]



[データバックアップ]



[非常用自家発電設備]



[燃料確保(インタンク)]



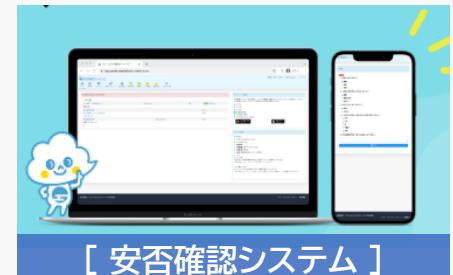
[緊急時連絡体制(衛星電話)]



[高耐震施設]



[非常用食料・トイレの搭載]



[安否確認システム]

▷ 予想される重大な災害等(自然災害・感染症等)により甚大な被害が発生した場合においても、物流サービスの継続的な提供による社会貢献を行うことを目的として『BCP基本方針』を定め『事業継続計画』を策定しております。

■ 2026年3月期 運輸安全マネジメント

■ 基本的な方針

- ① 安全と生命は全てに優先する
- ② 安全・確実・迅速の業務遂行
- ③ 安全管理体制と安全教育体制の強化

■ 2026年3月期 計画 (カンダコーポレーションの計画より一部抜粋)

- (1) 運輸安全マネジメントの内容周知を目的とした安全講習会の実施。
- (2) 年間教育計画、年間整備計画を作成し基幹システムにて管理。
- (3) 運行管理者・運行管理補助者を対象とした研修会を開催。
- (4) 足利教育研修所を活用した新任運転者向け安全教育の実施。
- (5) カンダグループ運転ルールの定着確認および安全指導を実施。
- (6) 運転免許保有者のSDカード(安全運転者カード)取得継続。
- (7) 安全性優良事業所認定(Gマーク)の取得推進。
- (8) 事故防止特別運動への参加。(年2回)
- (9) SAS検査、脳ドッグ検査および生活習慣病の重要性を指導。
- (10) グリーン・エコプロジェクトに参加し、エコドライブ活動の推進。
- (11) 全国交通安全運動期間に実施される交通安全運動への参加。
- (12) グループ内の事故事例・報告書を活用し指導を実施。



YouTubeの動画は
こちらのリンクから

安全対策の一環である「セーフティアドバイザーコンテスト」の紹介動画
が当社の公式Youtubeチャンネルからご覧いただけます。

URL: <https://youtu.be/YGvl5Jglwew>

本資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。

記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであります。

従いまして、将来の計画数値や施策の実現等について記載された内容を確約したり保証するものではなく、実際の業績は当社を取り巻く様々なリスク及び不確実性により、これら見通しとは異なる結果をもたらしうることがあることをご承知おきください。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社はこれを保証するものではありません。



カンダホールディングス株式会社

お問合せ先：カンダホールディングス株式会社 総務部株式課

電話：03-6327-1811(代) FAX: 03-6327-1800

ホームページ：<https://kanda-web.co.jp/>

e-mail: hd-soumu@kanda-web.co.jp

Q & A

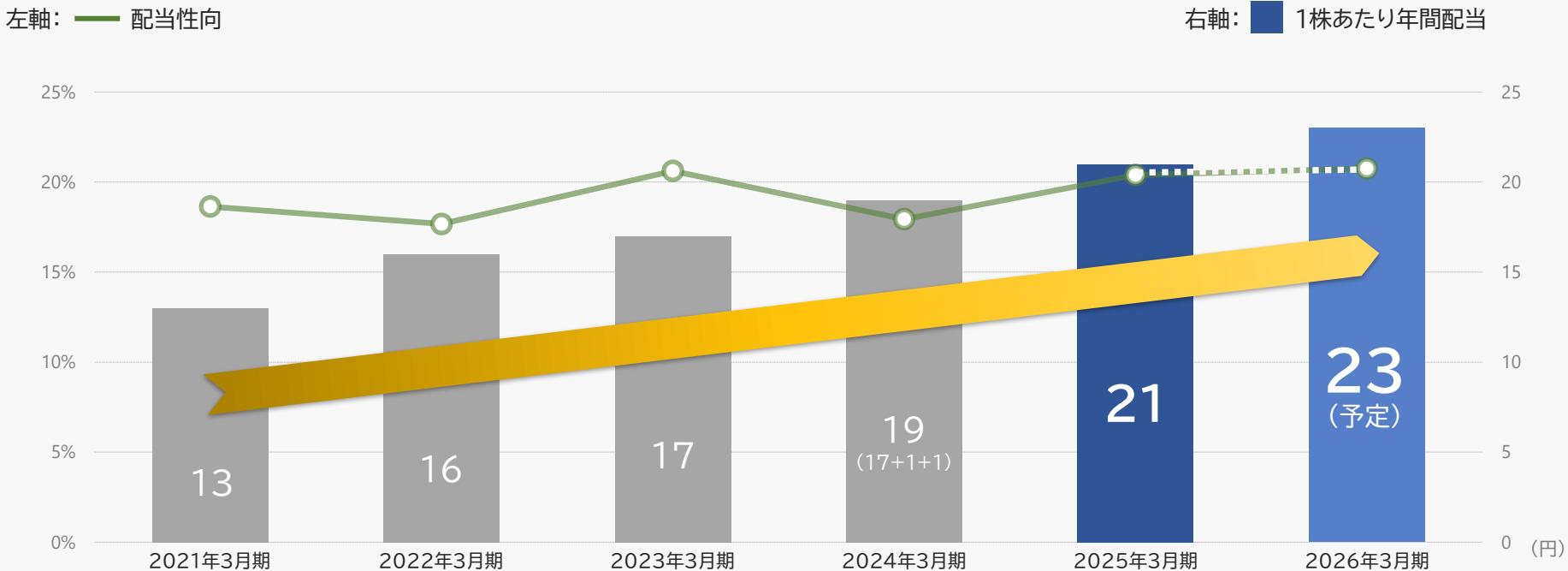
株式の流動性と配当の方針について

質問1 株式の流動性と配当の方針について



■ 配当・配当性向 (P20再掲)

配当方針：**安定的かつ継続的な配当を目指してまいります。**



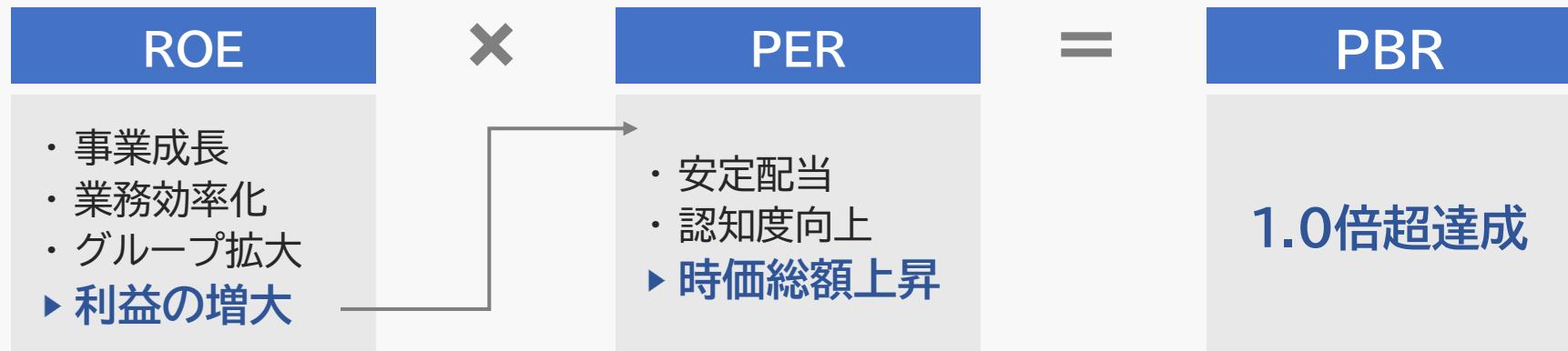
- ▶ 2021年3月期以降**4年連続で増配**を続け、2026年3月期においても**増配を予定**しております。
- ▶ 2025年3月期の年間配当21円は、2021年3月期比で**1.6倍**になります。

PBR1.0倍割れの対策について

質問 2 PBR1.0倍割れの対策について



■ PBRの考え方



■ YouTube公式チャンネル

IR

- 個人投資家様向け 会社説明会 (44:02)
- 2025年3月期 会社説明資料 (46:26)

安全・品質

- カンダグループの事故防止策とは? 第6回 SAコンテスト (2:44)
- 第30回 タフショウ21 中央発表大会 (5:30)

人的資本

- 働きやすい職場認証制度CM「見える化」篇 (3:12)
- 第21回 カンダグループ ソフトボール大会 (3:12)

環境・社会

- 環境配慮型トラック - FCEV - 試験導入開始 (1:48)
- 第43回 カンダ祭り (6:31)

当社の強みについて

お客様のニーズに全力で応える「オーダーメイド型ロジスティクス」



付加価値の提供 = 選ばれる物流会社

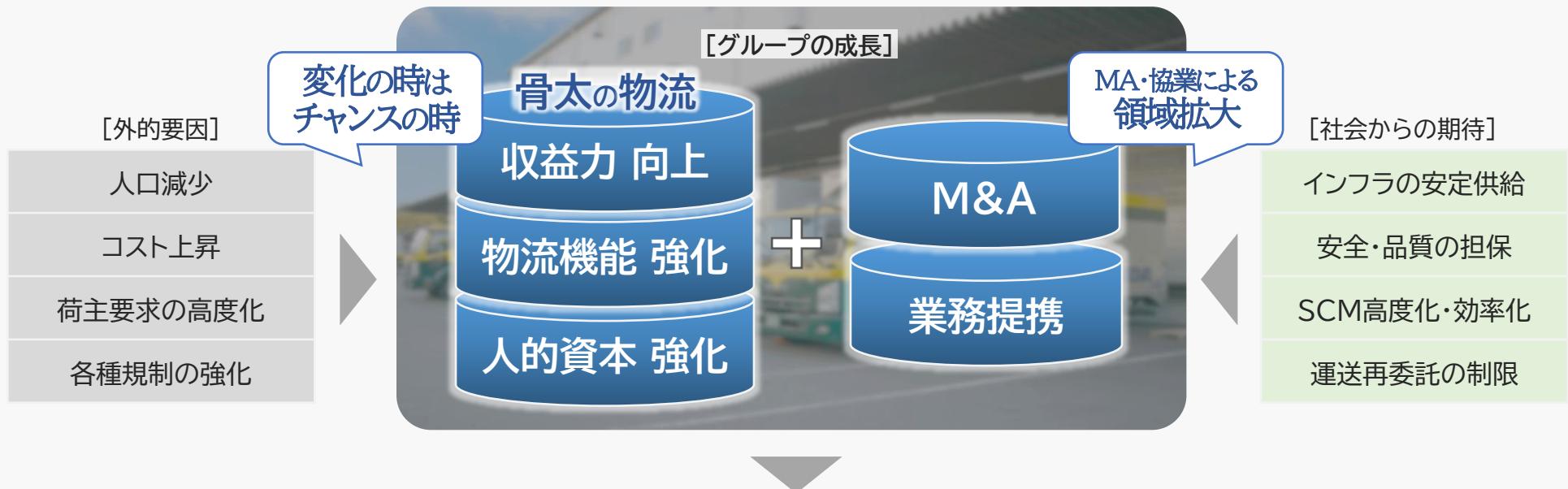
- ▶ お客様本位のきめ細やかな物流サービスを自らの手で提供することで高い参入障壁を築く
- ▶ 業務受託後における継続的な改善活動で解約率を下げ、安定的に利益を積み上げる

成長戦略について

■ 中期経営計画 10年後のビジョン (P26再掲)

- 10年後 売上高800億円規模を達成し、創立100周年とその先まで成長を続ける企業を目指す
- お客様のニーズに全力で応える (当社の礎であり、大手にはできない細かな対応こそが強みである)
- 未来に向かって挑戦する (未来志向の経営を推進し、新たな価値創造に向け挑戦する)
- 和の精神を大切にし、すべてのステークホルダーに多くの笑顔を届ける (当社が提供すべき価値)

■ 成長戦略イメージ



10年後 売上高800億円 経常利益50億円を目指す

国際物流の発展について

■ 国際物流事業の強み (P15再掲)

- ▶ 大手国際インテグレーターとの提携で実現する**低価格な輸出入サービス**
- ▶ 仕分け・梱包や**煩雑な書類作成**の代行など発送に関する様々な**付帯業務を代行**
- ▶ 自社開発「**最適輸送選択システム**」の活用で発送担当者様の**業務負担を低減**
- ▶ タイに生産拠点を構えられた日本企業様に対して**現地での物流も全面的にバックアップ**



PEGASUS ECONOMY NEXT (PEN)

翌日配送だからできる
他社と比較して**格安の Door to Door サービス**

集荷日翌日フライトの超格安輸送サービスで、他社通常価格に対して割安な価格設定となっております。書類作成、仕分け梱包もまとめてお請けする、輸送費を含めた様々なコスト削減を実現するサービスです。

1. 集荷日翌日フライトの超格安国際宅配便サービス
2. 充実した付帯サービス（書類作成/仕分け・梱包）
3. 最適な国際宅配便を自動選択

人材の確保について

■ 主な取組み

[女性活躍]

ロジメディカルでは**初の女性所長**が登用されました。
宅配業務を中心に**多くの女性ドライバー**が活躍しています。



[各種認証取得]

より良い職場環境を目指して、
各種認証制度の取得を推進しております。



健康経営優良法人

[明るい職場作り]

「物流の仕事は決して一人では成り立たない」との思いから、
様々な社内イベントの開催を通じて、**従業員同士のコミュニケーション**を深めております。



ご清聴ありがとうございました



カンダホールディングス株式会社